

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名張市立北中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒518-0615
三重県名張市美旗中村2380番地

E-mail : g01_j-kita@nabari-mie.ed.jp

Website : http://www.nabari-mie.ed.jp/j-kita/

児童生徒数：男子 262名 女子 261名 合計 523名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、今年度キャリア教育及び平和教育、伝統文化の継承に取り組みました。

1. 平和教育について

平和教育については、本年度下記の実施計画の通り、下記の目的に沿った平和学習に取り組みました。

名張市立北中学校

平成26年度修学旅行実施計画

1. 目的
① 集団行動・共同生活をとおして集団の規律を学び、自主的・協力的な態度を身につけるとともに、友情を深める。
② 「平和」をテーマとした人権学習から、戦争や原爆の恐ろしさを知り、平和・人権の尊さを学ぶ。
③ 長崎の歴史・文化に触れることで、歴史的・社会的視野を広げ、文化への理解を図り、「長崎」について学ぶ「総合的な学習の時間」の学習に役立てる。
2. 期 日 平成26年9月24日（水）～9月26日（金）
3. 行き先 長崎方面（被爆体験講話・原爆碑めぐり・市内散策 等）
4. 参加生徒 第2学年生徒179名（男子90名 女子89名）

具体的な行程について、1日目と2日目が平和教育の中心と位置づけて取り組みました。下記に記載した行程にもあるように、原爆資料館の見学、下平作江さんの被爆体験講話、爆心地での平和セレモニー、長崎市内の碑巡りを行いました。

24日	長崎原爆資料館(館内見学) 15:50頃～17:00	被爆体験講話 講師 下平作江さん 20:00～21:00
25日	長崎平和公園(平和セレモニー) 9:00着 平和祈念像前 11:20 《集合》ホテル(泊) 18:30頃	碑めぐり 9:30 平和公園前(昼食) 11:30～12:25 長崎市内散策文化に触れる 13:00～15:00
26日	略	

平和セレモニー 碑めぐり

流 れ	係	動きや言葉
1、整列点呼		<p>(爆心地公園についたら、各クラス碑めぐりの班で整列する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで班ごと点呼をして、前まで報告に来てください。(平和学習実行委員は、点呼が終わったら全員前に出てくる。)
2.平和セレモニー		<p>(点呼の報告が完了したら)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはようございます。 ・今から、平和への祈りをこめてセレモニーをはじめます。 <p>・戦争で犠牲になったすべての人に、祈りを捧げたいと思います。 黙禱 (黙禱 終わります)</p> <p>・北中学校の2年生から、平和のメッセージを述べたいと思います。 2年生全員を代表して、〇〇さんお願いします。</p>
3.碑めぐり		<p style="text-align: center;">平和メッセージを朗読する</p> <p>わたしたち北中学校2年生は、1年生の時から人権学習や平和学習を行ってきました。そして今わたしたちは、1945年8月9日に原子爆弾がおとされた、ここ長崎の地に立っています。この長崎市では原子爆弾でたくさんの方が亡くなり、現在も原爆症で苦しんでいる方が多くいます。昨日資料館で、原爆は一瞬にして多くの人の命をうばってしまうことをあらためて感じました。</p> <p>また、下平作江さんのお話を聞いて、戦争がどれほど罪のない人々を苦しめるか、命がどれほど尊くかけがえのないものかを実感しました。</p> <p>唯一の被爆国である、日本に生きる私たちが、核兵器の恐ろしさと、その廃絶を訴えていかなければならないと強く思います。平和への学びを続けるとともに、後輩や次の世代に戦争の愚かさを伝え、自分にできることを考え、1歩1歩行動していきます。</p> <p>争いやもめごとがなく、たくさんの輝く笑顔であふれた世界にするために、お互いの良いところを認め合い、思いやりの気持ちをもちたいと思います。</p> <p>平和を実現するために、自分の幸せ、まわりの人の幸せを考えて行動し、二度と戦争が起きないようにみんなで力を合わせて努力していきます。</p> <p>今生きていることに感謝し、ひとつしかないこの命の重みを感じて、精一杯生きていこうと思います。</p> <p>今から亡くなった方のご冥福を祈り、平和の願いを込めて、わたしたちの作った折り鶴と、平和のメッセージを捧げます。</p> <p>(メッセージと作品を捧げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは続いて、碑めぐりにうつります。 ・まず注意事項を言います。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 講師先生のまわりになるべく小さくかたまり、お話を聞きましょう。 2. 遅れないようにしっかり歩きましょう。 3. 交通ルールを守ってください。 ・しっかりお話を聞いて、見て、記憶に刻んでいきましょう。 <p>・今から、本日お世話になるガイドの先生を、山本先生から紹介してもらいます。 (前に並んでいただいたら)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;">10人の講師の先生を紹介</div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなであいさつをしましょう。“よろしくをお願いします。” ・先生方より何か連絡はありませんか。

		・それでは各グループごとに講師先生の指示に従って碑めぐりを始めて下さい。
--	--	--------------------------------------

<平和セレモニーの担当>

- ・司会
- ・制作物を捧げる
- ・平和メッセージ

文化発表会で

修学旅行の後、文化発表会の時に、2年生が平和学習で学んだことを舞台劇に自分たちでまとめた台本です。

2年生 文化発表会 舞台発表台本 名前（ ） つないでゆくバトン

場面	登場人物	セリフ・動作
はじめに 1. 学校で		<p>わたしたち2年生は、9月の修学旅行に向けて、1学期から平和について考えてきました。長崎では、原爆資料館の見学や、下平作江さんの被爆講演、長崎市内にある碑めぐりを通して、たくさんの事を学びました。今日は、私たちが学んだ事や考えたことを発表します。</p> <p>(劇) 現在の教室の中</p> <p>今日は平和について考えてみます。</p> <p>今、日本は平和ですか？世界は平和ですか？</p> <p>日本は戦争がないから平和に決まってるやん！</p> <p>戦争がなかったら平和なん？戦争だけ？</p> <p>戦争だけや！戦争がなかったら平和。</p> <p>世界の中では戦争してる国もあるから、世界は平和ちゃうわ。</p> <p>え～。戦争って今もあるの？</p> <p>日本は平和でよかったなあ。女の子も勉強できるし、誰でも学校行けるし。でも日本も昔、戦争してた時代があったんやってなあ。</p> <p><略></p>
2. 非核・平和コンサート 3. 下平さんのお話から(戦時中のくらし)		<p>私たちは、日本が戦争をしていた時代の話をついいろいろな方から聞かせていただきました。</p> <p>9月12日に北中で非核平和コンサートがありました。その中で、この名張市にも戦争のときは戦闘機が飛来し、犠牲者がでたことを知りました。</p> <p>1945年、終戦の年のことです。</p> <p>6月5日にアメリカのB29爆撃機が日本軍の攻撃により、青蓮寺一の谷に墜落しました。乗組員8名のうち4名は無事に脱出しましたが、大阪や名古屋に連れて行かれました。墜落した機体は西名張駅前の広場でみんなにみせられたそうです。</p> <p><略></p> <p>9月25日の修学旅行1日目の夜、下平作江さんから、戦争中の様子や原爆のお話をお聞きしました。</p> <p>1945年まで、日本は15年もの長い間、戦争を続けていました。最初は勝っていましたが、だんだん負けることが多くなって、日本の上空にもアメリカの爆撃機がたびたび飛んでくるようになりました。</p> <p>長崎の町には、戦争のための大きな工場があって、攻撃が続いていました。</p> <p>(劇) 1945年 学校の中</p> <p>あーおなかすいた。今日もごはんは豆かすばい。</p>

<p>4. 原爆投下・その後</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Q1, ここで問題です。豆かすとはなんでしょう。 豆かすとは、油をしぼった大豆の残りかすのことです。油は戦争に必要なので手に入りませんでした。</p> </div> <p>白いご飯が食べたかー！ そんなんあるわけなか。 早よ戦争が終わって、はらいっばい白いごはんが食べたかー。 欲しがりません。勝つまでは。 さーみなさん、授業ばい。〇〇さん、はよ座りなさい。 ここは、ととととー。</p> <p><略> 1945年8月9日午前11時2分</p> <p>気がつくと、周りは恐ろしい風景に変わっていました。たくさんの人が死に、変わり果てた姿で水を求めていました。きれいな水も食べるものもなく、草を食べて生きていました。</p> <p>(写真1) これは爆風でこわれて11時2分にとまった時計です。 (写真2) これは6本のビンがとけてくっつきました。爆心地から400mの所でみつかりました。 原爆の爆心地の上空では5600度もあり、これは太陽の温度とほぼ同じです。</p> <p><略> 修学旅行では、市内ガイドの方が、原爆の様子をお話してくれたり、当時の様子が見られる場所に案内してくれたりしました。</p> <p><略> 長崎さるくの活動をしている方も、原爆にあわれたころはまだ幼くて、あまり覚えていないけれど、お母さんや周りのかたの話をきいて、平和の大切さを訴えていかなければと思ってこの活動をはじめたとお聞きしました。</p> <p><略></p>
<p>平和に向けて 平和セレモニー宣言</p>	<p>下平さんの講演の最後の場面です。</p> <p>平和とは何だろうと問われたら、私は平和とは「人の痛みがわかる心を持つ」と答えます。人の痛みのわかるやさしい思いやりの心を持ってほしい。私の話をしっかり聞いてくれてありがとうございました。長崎を最後の被爆地にしよう、永井博士の思いをついで1万回以上講演をしてきましたが、もう体があちこち悪くなってきました。 私はみなさんに今日、平和というバトンを渡しました。しっかりそのバトンを受け取っていただいて、これからはあなたがたが、戦争のない平和な世界をつくってってください。</p> <p>何か質問はありませんか。</p>

今の若い私たちに、もっとうちがこうしたい方がいいと思うことはありますか。

今、あなたたちは幸せですね。でも知るということも大切です。悲惨な経験をしたわたしたちの声にしっかりと耳を傾けて、これから自分たちが何をすれば良いか、どうしていけばよいかを、自分たちでしっかり考えてください。いろんな体験をして、お互いに手をつなぎあって素晴らしい人生を1歩1歩、平和という2文字に向かってがんばってくださいね。

講演の後、友達と話をしました。

下平さんの話、とても心に残ったわ。話が聞いて良かった。
そやな。思い出すのはつらいだろうに、一生懸命伝えてくれたね。ぼくたち、平和について真剣に考えていかなあかな。
平和というバトンを渡すって、言われてもなあ。
わたしにできることって何やろ。日本は戦争もないから平和やし。
そやけど、本当に平和って言えるのかなあ。いじめとかで苦しんでいる子もいるで。
自殺する人もいる。そんなで平和なんかな。
身近なことやったら、考えられることあるかも。できることありそうや。
まず、「人の痛みがわかる心を持つ」ことをやっていかなあかんのと違う？
そうや。やってみよう。

<舞台にならんで>

わたしたちは平和な世界を願う多くの人たちからバトンを受け取った
戦争で苦しい、戦争で悲しい思いをした多くの人たちが
戦争のない、平和な世界が続くことを強く願う
その思いの詰まったバトン
平和とは、人の痛みがわかる心を持つということ

知ることによって、これから何をしなければならぬのかを知ることができた
語り継ぐ人たちの話に耳を傾けて、これからどうすればよいのかを考えることができた
まず、知ったことを伝えていこう
できることから行動していこう
つないでいこう、平和というバトンを
これからもずっとつないでいこう

《合唱隊形に移動する。》

唯一の被爆国である、日本に生きる私たちが、核兵器の恐ろしさと、その廃絶を訴えていかなければならぬと強く思います。平和への学びを続けるとともに、自分の周りの人や次の世代に戦争の愚かさを伝え、自分にできることを考え、一步一步行動していきます。

	<p>合唱「今 この時代に」 1 番 《間奏で》 争いやもめごとがなく、たくさんの輝く笑顔であふれた世界にするために お互いの良いところを認め合い、思いやりの気持ちを持ちたいと思います。</p> <p>平和を実現するために、自分の幸せ、周りの人の幸せを考えて行動し、二 度と戦争が起きないようにみんなで力を合わせて努力していきます。</p> <p>この平和学習で、私たちが経験したことのない原爆の恐ろしさを身にしみ て感じました。これから私たちは、平和を築くために、平和とは人の痛み がわかることということばを胸に、いじめをなくすなど身の周りに起きて いることから取り組んでいきたいです。</p> <p>合唱「今 この時代に」 2 番</p> <p>これで 2 年生の発表を終わります。</p>
--	---

2. 伝統文化の継承 和楽器体験について

本校では、伝統文化から学ぶとして、和楽器体験に取り組んでいます。和太鼓や三味線など、子ども達が普段手にすることのない楽器や耳にすることのない演奏に触れ、日本の伝統文化に親しむことを大切にしています。

下記のような要領で取り組みました。

○日時：平成 27 年 1 月 26 日（月）

○場所：格技場・第 1 音楽室・会議室（控え室）

○講師：日本民謡協会三重 湊城会 名

○授業の流れ

8 : 5 5	廊下整列・格技場入場・(集会隊形)	
9 : 0 0 ~ 9 : 1 5	挨拶・紹介・楽器紹介・模範演奏の鑑賞	
9 : 1 5 ~ 9 : 2 0	移動(三味線：格技場 太鼓：第 1 音楽室) 体験スタート(各グループ 13 分) ※待っている間もし っかり説明を聞く	
	三味線(格技場)	太鼓(第 1 音楽室)
9 : 2 0 ~ 9 : 3 3	A グループ	D グループ
9 : 3 3 ~ 9 : 4 6	B	E
9 : 4 6 ~ 1 0 : 0 0	C	F
1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 0 5	移動(三味線と太鼓 交代)	
	三味線(格技場)	太鼓(第 1 音楽室)
1 0 : 0 5 ~ 1 0 : 1 8	D グループ	A グループ
1 0 : 1 8 ~ 1 0 : 3 1	E	B

10:31～10:45
10:45～10:50

F
格技場に戻り整列・お礼の言葉

C

3. 働く人から学ぶ会(キャリア教育)について

本校では、下記の実施計画の通り、働く人から学ぶ会を実施し、キャリア教育に取り組みました。

「働く人から学ぶ会」実施要項

1. 目的

地域の身近な産業、職業やそこで働く人々の職業観、勤労観などについての聞き取り、調査、発表活動など、体験的、探索的な学習を通して、職業、勤労の持つ意義や役割などについての理解を深め、生き方や職業選択の基準ともなるべき価値観として、望ましい職業観、勤労観を形成する。

○「働く人」から直接話を聞く中で、職業に対して具体的に理解し、その楽しさややりがい、厳しさなどを身近に感じ取り、自身の生き方や職業に対する考え方を問い直す機会を持つ。

○自身の進路をより明確にし、進路に対する計画を吟味し、進路選択に必要な知識や判断力を身につけようとする態度を養う。

2. 日時 平成27年2月12日(木) 13:00～15:10

3. 場所 北中学校 各教室

4. 対象 北中学校 2年生 179名

5. 日程	13:00	講師様 来校 控え室<会議室>
	13:15～13:25	全体集会 <体育館>
	13:25～13:35	講演会場へ移動 <各教室>
	13:35～14:15	講演1 (20名程度のグループで受講)
	14:15～14:25	生徒が教室を移動
	14:25～15:05	講演2 (20名程度のグループで受講)
	15:05～15:10	講師様 退出 控え室<会議室>

進路学習「働く人から学ぶ会」

1月29日(木)から、役割分担や心構えなど2月12日(木)の「働く人から学ぶ会」に向けて準備をすすめてきました。

職種別に消防士、警察官、看護師、保育士、美容師、製菓業、接客業の7つの講座に分かれて、講師の先生方から、それぞれが希望した2つの講座でお話をうかがいました。

「働く人」から直接話を聞くことで職業に対する理解を深め、また、その楽しさややりがい、厳しさなどを感じ取ることが出来ました。実際にその仕事に就かれている方の話とあって、外見やイメージとは違った面も知ることができ、これからの進路選択の参考になりました。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 (

)